

平成 29 年度事業報告書

1. 特養なつあけの里、利用者数は入居率約 85%となり、経営の安定に多大な貢献となりました。これは施設長・職員始め関係者各位の努力の賜物であります。他方、29 年度、下半期より職員の退職者が出始め、特筆すべきは看護師の人員基準が満たせず、和歌山県より返金を命じられました。社会福祉法人として、法令を守らねばならないことを今一度理事長以下猛省し、再発防止に取り組んでいる次第であります。
2. 個人経営から組織経営への転換を目標に「コンサルタント」の指導の下、組織、権限、規定、職務記述書、他大幅に変更し 3 月末現在、実施を始めたばかりであります。
3. 国の対策として、介護予防サービスを推進する方針を打ち出しています。きたば会は県下法人に先駆け包括支援センターの支援のもと、予防型デイサービス“アゲイン”を立ち上げ実施しております。

きたば会に勤務する職員は経営方針を理解し、国の定めた介護事業のコンプライアンスを守り、利用者に対して 3 つの理念をもってサービスを提供し、職員が協力しあい、働き甲斐のある職場作り目指します。

1. いやし、安らぎを提供します
2. 安心と安全を提供します
3. 老化予防によって健康長寿を提供します

平成 30 年 5 月 28 日
社会福祉法人きたば会
理事長 北波利雄